

～通常総会後の、会員でない方にも聞いていただける講演です
お誘いあって、ぜひおいでください～

「NPO法人共同保存図書館・多摩」 2016年度総会記念講演

「県立と市町立図書館の協力による共同 保存図書館の実践 —滋賀県の場合—

講師：國松完二氏
(滋賀県立図書館長)

5月29日(日) 午後3時20分～4時40分
(午後2時から3時には、多摩デポ総会を開催)

国分寺労政会館 地下1F 第1会議室:参加無料
(国分寺駅南口徒歩5分)

国分寺市南町3-22-10 TEL:042-323-8515



カーリルと開発した「多摩地域蔵書確認システム(仮称)」が普及すれば、多摩では除籍作業の際に、残すべきタイトルの確認は以前よりずっと容易になると考えられます。しかし各館の現有スペースのままでは限界があり、次にはいよいよ共同保存書庫をどのように実現するかを進めなければなりません。

これはリアルな広域行政の問題でもありません。滋賀県ではこの間、県内の図書館新設を進めると同時に、「市町立図書館で除籍する県立未所蔵の資料は県立図書館に移管する」共同保存が進んできました。これは県と市や町が、具体的にどのような条件や希望を出し合って、実現してきたのでしょうか？

「滋賀はかつての都立多摩の実践に刺激を得て始めた」と言う國松氏の講演を聞き、今後の多摩でできる連携の動きを考えたいと思います。

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 (略称「多摩デポ」)

〒182-0011 調布市深大寺北町1-31-18

●HP: <http://www.tamadepo.org/> ●E-Mail: depo_tama@yahoo.co.jp

●FAX: 042-484-3945

※ホームページで現在「多摩地域図書館蔵書確認システム(仮称)」を公開、さらに改良中です。試して下さい、ご意見・アドバイスをお願いします！